

平成 30 年 5 月 10 日 (木)

## ないじえる芸術共創ラボ 古典インタプリタ日誌 山村浩二さん WS 江都名所圖會の空を飛ぶ

### 1、6 回目のご来館

30 年度第一回目となる山村浩二さんのご来館 (5 月 10 日)。

現在創作中のアニメーション作品「蕙斎、夢見の絵」の進捗についてうかがいながら、その成果のアウトプットイベントについて構想を練りました。

### 2、山村さん蔵、蕙斎『略画式』シリーズ

山村さんは昨年度より、江戸時代に活躍した絵師・鋏形蕙斎 (くわがたけいさい) の『略画式』という絵本<sup>1</sup>をモチーフに、アニメーション作品を創作しておられます。

昨年度のアウトプットイベント「デジタル発 和書の旅 湯とアートが鳴子で出会う」では、山村さんが『略画式』のどのような部分に注目しておられるのか、また、蕙斎の作品をどのように模写し、如何にご自身の作品に活かしておられるのかをうかがいました。

ところで、絵本コレクターでもある山村さん。この日は、最近購入されたという蕙斎の絵本を持ってきてくださいました。

特に圧巻だったのは、芸艸堂から昭和 45 年に刊行された『略画式』シリーズ (明治版の復刻。山水、草花、鳥獣、魚貝、人物の五冊組)。「おそらくひらかれることなく、蔵で眠っていたのでしょうか」という山村さんのお言葉のとおり、折り目のない真新しい和本たちが並びます。色彩がはっきりと残り美しいだけでなく、目を近づけてみると、摺りの凹凸までもが残っていました。江戸時代当時に摺られた絵本とは違う魅力があります。



<sup>1</sup> 『人物略画式』 <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007682>

『鳥獣略画式』 <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200007686>

平成 30 年 5 月 10 日 (木)

また、「蕙齋略画式」二編（弘化 4～嘉永 5 年〈1847～1852〉頃刊）は、他の『略画式』が大本という大きなサイズで出版されているのに対して、中本という小ぶりなサイズ。なぜこのサイズ感なのでしょう。山村さんは、この作品のタッチをご覧になりながら「淀みなく描いていると思います」とコメント。その他の作品のなかでも、蕙齋は意識的にタッチを使い分けていると考えておられるそうです。



木越俊介先生（当館准教授）も私も大の絵本好き。美しい本を前に、大変盛り上がりましたそれにしても、今まさに『略画式』を用いて新しい作品を生み出しておられる山村さんに見出された本達の、なんと幸運なことでしょうか。収まるべきところへゆくのだなあ、本の運命に思いを馳せました。

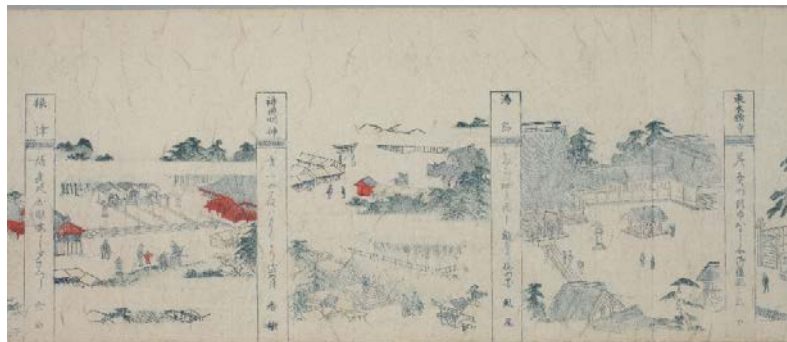
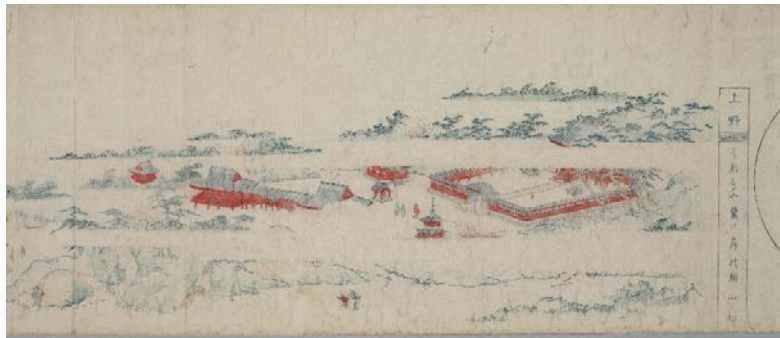
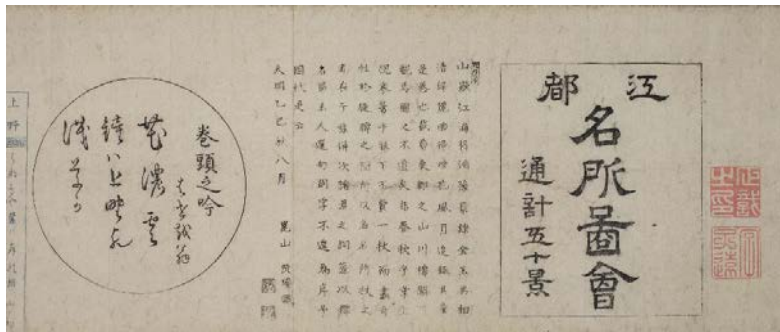


### 3、アニメーション創作の進捗についてうかがう

さて山村さんは、昨年度のアウトプットイベントで、「蕙齋、夢見の絵」の予告編（2分程度）を初公開していただきましたが、なんと現在は8分程度の作品になっているとのこと。

特別に最新バージョンの作品を拝見し、予告編以上の物語の広がり到大変わくわくいたしました。もしかすると音声も加えるかもしれません、などの構想をうかがい、完成がますます楽しみです。

平成 30 年 5 月 10 日 (木)



ところで以前来館された折に、当館に所蔵されている蕙斎の作品を色々ご覧いただいたのですが、そのなかに「江都名所圖會」<sup>2</sup> (えどめいしよずえ、天明 5 年 (1785) 刊) という作品がありました。

江戸時代後期、各地の名勝地を、絵と文と共に記載した名所図会が流行したのですが、それらは冊子本が多いのにひきかえ、「江都名所圖會」は珍しい卷子本仕立てです。それも、主に青色を使った多色摺りの版本で、大変に凝った雅味溢れる作品です。

この日も出納しておいたところ、山村さんから「実はこの作品を、アニメーションの中に取り入れているのです」という衝撃の一言が。「蕙斎、夢見の絵」のモチーフは、基本的にすべて蕙斎の作品の中から用いておられるということでしたが (ちなみに色数も蕙斎の作品に忠実だそう)、『略画式』シリーズ以外の作品をも使っておられたとは。

うかがったところによると、「江都名所圖會」の最後に描かれる「飛鳥山」の風景の中にいる大名行列が使われたそう。

「蕙斎、夢見の絵」には、蕙斎が江戸の街を歩いたり、鷹になって上空から街の様子を見渡す場面があるのですが、その中に巧みに溶け込ませておられました。完成版が公開された暁には、是非この大名行列を探してみてください。

<sup>2</sup> <https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200016950/viewer/>

平成 30 年 5 月 10 日 (木)



#### 4、アウトプットイベント「デジタル発 和書の旅 山村浩二、蕙齋に逢いにゆく」

6月16日に、山村さんの成果のアウトプットイベントを行います。そこでは山村さんの原画をご覧いただきながらアニメーション創作秘話をうかがったり、「江都名所圖會」を皆様と鑑賞したりしながら、蕙齋の生きた時代へと時空の旅をし、蕙齋と山村さんの画業に迫ります。勿論、「蕙齋、夢見の絵」の最新版予告編も上映されます。

この日は、イベント時にご協力いただく凸版印刷(株)の高羽将人さんも含めた打合せを行いました。

